

特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.1

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第1号となる本号では、2009年8月～10月の活動内容、会員の受賞について、冊子『行動する女性技術士たち』のPRそして、今後の活動予定をお届けします。

みなさまからのニュースレターへのご意見・感想をお待ちしています。

活動内容 (2009/08～2009/10)

第3回技術サロン (第3回技術サロン in 四国)

◆ 目的：日本技術士会所属メンバーで構成するWPETFが主催する活動です。技術者を目指す女子学生が卒業後の自分の姿を思い描き、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供することを目的としています。

◆ 日時：2009年7月11日(土) 13:30～16:00

◆ 場所：徳島市文化センター5号会議室

◆ 担当者：岩熊、石田、花岡、渡辺、笹尾

◆ 参加者：女性学生4名、教員2名

◆ 内容：

小講演「技術士とは」(岩熊)：JABEE課程と技術士制度との関係等について、基本的な事項をわかり易く説明しました。
アイスブレイク：参加者全員で自己紹介カードや意思伝達ゲームによるコミュニケーション方法を習得した。全員が打ち解け、盛り上がることができました。

フリートーク：ポストイットカードに質問などを書き出し、それに回答する方法で意見交換を行いました。質問は、「女性が技術者として働くことのメリット、デメリットは?」、「どのようにして就職したか?」、「仕事と家庭のバランスは?」、「身近に女性の技術者がいないので将来を想像できない」など。主催者側は、「女性技術者として大きな声を上げてほしい」と結びました。

成果：首都圏を脱して初の地方開催でした。参加者からは就職及び日常業務に関して真剣な質問が数多く発せられました。今回は地方都市ということもあり、地元での就職の難しさ、女性技術者に対する理解不足等を改めて感じました。参加された2名の



先生には、女性技術者の業務実態を知っていただく良い機会になりました。実施内容に対するアンケートの評価は高く、参加者全員から今後のイベントの連絡受領をいただきました。なお、今回は地方開催の運営試行も兼ねていましたが花岡、渡辺両氏の協力により大きな成果を得ることができました。

■ 女子中高生夏の学校 2009～科学・技術者のたまごたちへ～

◆ 目的：科学者・技術者との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術分野に自分の新しい可能性を見出すことをねらいとした、合宿形式の体験型サイエンスプログラム「女子中高生夏の学校 2009～科学・技術者のたまごたちへ～」が国立女性教育会館を会場として8月13日～15日の3日間開催されました。そのうちの一日にポスターセッション・キャリア相談ブースがあり、山梨大学鳥養先生を通して参加を依頼されたものです。昨年は準備期間が短く間に合わなかったので、今年が初めての参加となりました。INWES-Jも隣に出展し、協力しながら実施しました。

◆ 主催：（独）国立女性教育会館 日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」

◆ 日時：2009年8月14日（金）10：00～18：00

◆ 場所：（独）国立女性教育会館NWE C
埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728

◆ 担当者：氷上、廣瀬、岩熊（岩熊はINWES-Jとしての参加）

◆ ゲスト：都河明子 JST 委員長（東京大学男女共同参画オフィス特任教授）

◆ 参加者：女子中高生 108 人、教員保護者 33 名、TA^{注2)} 多数参加、ポスターセッションには学協会（大学を含む）を中心に 31 団体参加

◆ 内容：

「技術系の資格とは - あなたが技術者になったとき - 」というテーマで技術系の各種資格を紹介する中で、技術士を詳しく説明しました。ポートフォリオ^{注1)}を3部用意して希望者に閲覧してもらいました。後日、出版後の送付も受け付けました。

中高生は、進路を狭く限定して志望している人と全く決まっていない人と両極端である印象でした。

ポートフォリオは高校の先生に大変評判が良かったです。進路指導でも女性技術者の事例は少なく、苦労している様子がうかがえました。

また、ポスター展示と説明はTAとして参加している女子大生や社会人1年生にとっても興味をもってもらえました。JABEE 課程の学生や技術士を理解している人も多く、より具体的な悩みに答えることもできて有意義でした。

INWES-Jは「理系にいこう！ - You can do anything - 」のDVDの紹介と理工系の分野のさまざまな学科からのアプローチについての紹介を行いました。

注1) ポートフォリオ：会員のキャリアの紹介等 冊子「行動する女性技術士たち」へとりまとめ

注2) TA：Teaching Assistant（ティーチングアシスタント）インストラクタやアシスタントのこと



■ BIEN2009 : INWES Asian Network への参加

◆ 目的：今回が初めての BIEN への参加の目的は、以下のとおりです。

ポスターセッションでの当 NPO の活動の発表・広報

講演会、発表会の聴講

交流食事会、オフィシャルツアーへの参加による、各国からの参加者との交流

2011 年の ICWES15 に向けた INWES Asian Network のワークショップへの参加

◆ 日時：2009 年 8 月 27 日（木）～ 29 日（土）

◆ 場所：韓国、釜山のヘウンデ

◆ 担当者：千木良

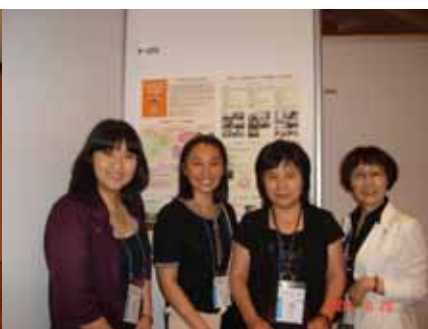
◆ 内容：

27 日に岩熊眞起氏（INWES JAPAN 代表）の招待講演を聴講しました。

28 日に中野あぐり氏の INWES JAPAN 活動状況を聴講したほか、NPO 活動内容のポスター展示を行いました。また、INWES Asian Network のワークショップに参加し、交流食事会に参加しました。

29 日にオフィシャルツアーに参加しました。

交流会、オフィシャルツアーなどを通して、アジア各地からの参加者と交流・親睦を図ることができました。



第4回技術サロン

- ◆ 目的：日本技術士会所属メンバーで構成する WPETF が主催する活動です。技術者を目指す女子学生が卒業後の自分の姿を思い描き、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見考案をする場を提供することを目的としています。
- ◆ 日時：2009年10月3日（土）13：30～16：00
- ◆ 場所：日本技術士会荻手第2ビル5階D会議室
- ◆ 担当者：岩熊、氷上、石田、角田、喜多、青木、修習委員会坂本委員（一部のみ参加）
- ◆ 参加者：女子学生6名、若手社会人（2年目）1名
- ◆ 内容：

小講演「『技術士』資格に関する説明」（岩熊）：JABEE 課程と技術士制度との関係等について、基本的な事項をわかり易く説明しました。

フリートーキング：第3回で用いたアイスブレイク手法等を用いて、主催者・参加者ともに打ち解けたあと、小講演の内容や資料として準備したリーフレット等を題材に、技術者としての今までの経験や、学生として今後キャリアを積んでいく上で疑問に思っていること等について意見交換を行いました。フリーディスカッションは、飲み物や茶菓子等も用意し、固い雰囲気にならないように心がけました。同日の別イベントに参加していた修習委員会坂本委員（日大准教授）の協力を得て、大学教員を目指す参加者へのアドバイスをいただきました。

成果：参加者は総じて積極的で、打ち解けた雰囲気の中で進行し、今回も当初終了時間を延長しました。参加者からは、資格取得に関する疑問、ライフイベントにおける対応等の質問が次々に発せられました。また、今回初めて若手社会人（2年目）の参加がありました（技術士である父親からの勧めによるもの）。第1回からのリピータ（遠方で実施した3回目を除き、全回参加）の参加者がいたり、次回の開催予定の質問があったり等、一定の評価を受けていると感じられました。



会員の受賞について

木村弘子氏 埼玉県より荻野吟子賞を受賞

埼玉県在住の当会会員の木村弘子氏は、長年土壌浄化法の普及に多大な努力をされてきました。埼玉県では男女共同参画の推進などに貢献のあった個人、団体、事業所を表彰する「さいたま輝き荻野吟子賞」を設定されていて、今回今までの活動が認められて盆栽家の山田香織氏とともに平成21年2月6日に知事より表彰されました。

毛管浄化法は土壌の持つ自然の力を利用した独自の汚水処理技術で、この技術による下水処理施設の提案、普及に努められ、最近では韓国、中国などにも進出されています。全国で43の市町村で採用され今後は、

（1）下水道事業で地方の活性化

- (2) 土壌浄化法による下水道事業
- (3) 技術士の方々への情報開示
- (4) NPO 法人で土壌浄化法の普及

をスローガンにさらなる展開をしていくとのこと。

参考：荻野吟子氏とは熊谷生まれの日本最初の女性医師とのこと。

■ 鈴木千賀氏 環境技術及び資源マネジメント国際会議で「Excellent Presentation Award」を受賞

2009年9月14日から16日に日本とスイス(ダボス)の両会場で開催されたR'09 Twin World Congress (環境技術および資源マネジメント国際会議2009)において鈴木千賀氏(水産部門技術士補、名古屋大学大学院 JSPS 特別研究員)の研究発表「Environmental measurement skills by red tide index toward the control of the sea phenomenon accelerated by human」が「Excellent Presentation Award」を受賞(連名)しました。

この会議は3R(Reduce, Reuse, Recycle)をはじめとする環境、エネルギー、資源循環に関する国際的諸問題を取り扱う学術研究集会です。毎回各国から数百人規模の研究者、技術者、実務などが参加し、この分野では権威のある国際会議として認知されています。日本では名古屋大学で開催されました。

冊子『行動する女性技術士たち』の紹介

■ 『行動する女性技術士たち』の紹介

高校生、理系で学ぶ女子大学生、理系の学部を持つ大学や高専の学生、若い女性技術者を対象に、進路決定の参考にしてもらうことを目的に発行しました。

本会会員の21名の女性技術士たちの職業や働き方、生き方を紹介しています。

◆ 主な内容

女性技術士の会及び技術士の紹介

「私のワーキングキャリア」、「理系を目指した理由」、「技術者の喜び」、「若き技術者達へ」をテーマとした、21名の女性技術士たちの自己紹介

◆ 紹介例

生涯、一コンクリート屋

私の仕事と生活

地域計画 think&DO タンク

私はまちづくりプランナー

私は環境コンサルタント

土木技術者から環境技術者へ

◆ 値段 A4版 53ページ 1冊300円 郵送の場合は1冊500円となります。

◆ お問い合わせ・お申し込み先

◆ 特定非営利活動法人女性技術士の会 吉川、廣瀬 pejport@pej-lady.org

お申し込みには、住所、郵便番号、氏名、メールアドレス、希望冊数をお書きください。



行動する女性技術士たち・ポートフォリオ

目次

執筆者	テーマ	技術部門/選択科目	ページ
渡辺 弘子	生涯 コンクリート屋	建設/鋼構造及びコンクリート	8
酒井 一江	私の仕事と生活	建設/都市及び地方計画	10
花岡 史恵	地域計画 think&Do タンク	建設/都市及び地方計画	12
吉田 洋子	私はまちづくりプランナー	建設/都市及び地方計画	14
浦郷 昭子	私は環境コンサルタント	建設/建設環境	16
田村 裕美	土木技術者から環境技術者へ	建設/建設環境	18
平野 英子	私は原子力分野の環境関連の技術者	建設/建設環境	20
木村 弘子	土壌浄化法で地域の環境整備を具体化	上下水道/下水道	22
笹尾 圭穂子	建設コンサルタントに勤めて	上下水道/下水道	24
水上 澄子	今はお年寄りの生活支援をしています	上下水道/下水道	26
馬場(永井) 未央	私と水とのかかわり	上下水道/水道環境	28
石田 佳子	廃棄物と循環型社会	衛生工学/廃棄物管理計画 建設/建設環境 総合技術監理/衛生工学/ 廃棄物管理計画	30
木村 了	私の職業は…ある時は建築家 ある時は造園家 そしてある時は農村環境整備技術屋	農業/農村環境	32
鈴木 千賀	環境政策と科学技術の橋渡し役として	水産(技術士補)	34
青木 ゆかり	情報システムとの偶然の出会い	情報工学/情報システム 総合技術監理/情報工学/ 情報システム/データ工学	36
廣瀬 由紀	建築と情報システム	情報工学/情報応用	38
岩熊 まき	何となく理系のその後	応用理学/物理及び化学	40
藤井 由美	現在、ワーキングキャリア 第Δステージ	応用理学(技術士補)	42
角田 ふで子	民間会社研究開発部門技術者として	環境/環境保全計画	44
吉川 サナエ	私は公務員技術者	環境/環境測定	46
井本 郁子	私のワーキングキャリア	環境/自然環境保全 建設/建設環境 総合技術監理/建設/ 建設環境	48

今後の活動予定

- サイエンスアゴラへの参加～これからの理系社会 - 女性の理系能力が未来を創る～
- ◆ 目的：本会メンバーが INWES-J の一因としてサイエンスアゴラに参加します。展示、DVD 紹介等により、技術者を目指す女性への支援と本会の PR をすることが目的です。
- ◆ 日時：11月1日～3日 11:00～17:00
- ◆ 場所：国際交流大学村(ゆりかもめで海の科学博物館あるいはテレコムセンター下車)
- ◆ 会場：東京国際交流館(3F メインホワイエ)
- ◆ 内容：サイエンスアゴラでの INWES-J のポスターセッション
日本の未来を担う青少年に向けて理系進学の必要性、理系職業の楽しさを紹介します。とくに将来必要となる女性の活躍に関して第1線で働く先輩女性の姿をDVDで紹介します。またどのようにして希望の報告に進めるかなど、実際に第1線で働く女性がナビゲータになり、さまざまな質問にお答えします。

サイエンスアゴラ <http://scienceagora.org/scienceagora/agora2009/>

主催：JST(科学技術振興機構) 日時：10月31日～11月3日

- 第2回 おもしろまちづくりシンポジウム
- ◆ テーマ：「ばば・ママ・こどもの・おもしろ・まち・あそび」
- ◆ 日時：2009年12月5日(土)13時30分～
- ◆ 場所：コトブキDIセンター 〒105-0013 東京都港区浜松町1-14-5
- ◆ 内容：子育てをテーマに、まちにスポットを当てたシンポジウムを計画中です。子育て中の方、ご参加ください。